

## RMC-3E 施工報告書

施工日	平成 30 年 4 月 25 日 (火)	管理番号	ML-RMC-3E-2018-0001
お客様名 (会社名)	某運送業者 様	施工者 立会者	北海精機株式会社 能戸社長(施工主担当) トラックメーカーH社 2名(技術評価) 顧問 高津(販売代理店) 櫻 RMC施工技術者 本田( 報告書作成者)
住所 連絡先	(千葉県)		

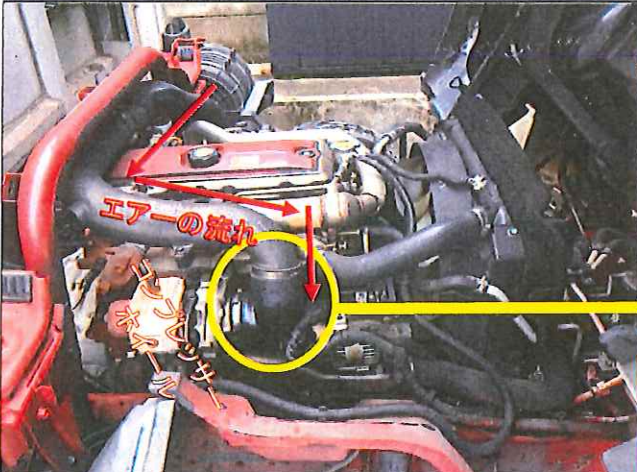
### 車両データ

メーカー	日野デュトロ 2トン	車種・エンジン	PB-XZU414 (エンジン N04C) 4サイクル水冷直列	
種別	バイク 軽自動車 普通自動車	中型車	大型車	農耕車 重機 その他( )
燃料	レギュラーガソリン ハイオクガソリン	軽油	LPガス	排気量
車台番号		型式		4000 cc
ナンバー	(下4桁) 0022	※ 施工車両管理(偽造防止)の目的で使用します		
初年度登録	平成 年 月	走行距離	85万 km	※施工時点での走行距離
使用状況	街中が多い 郊外走行が多い 高速道路が多い	運送用	自家用・業務用	

### 施工データ

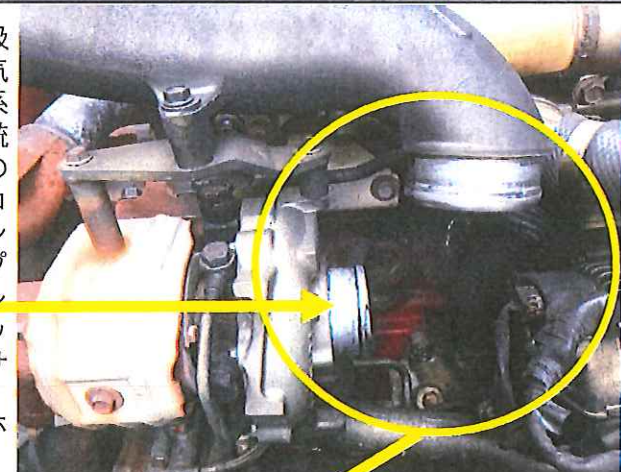
施工者	北海精機株式会社 能戸社長、櫻 技術者	立会者	
施工日時	2018/4/25 13:50-15:20	所要時間	90分(インターバル走行15Km含む)
使用量	RMC-3E 700cc		
施工見	3回に分けて計700ccを吸入し、エンジンの状態変化を観察した。別紙に示すとおり、データ上は「噴射補正量」などに改善が見られるとともに、運転の体感として、1000rpm付近でのブレ(揺れ)の半減、エンジン音の変化(バラつきが少なくなり乾いた音になった)、中高回転域のトルク増加が認められた。		


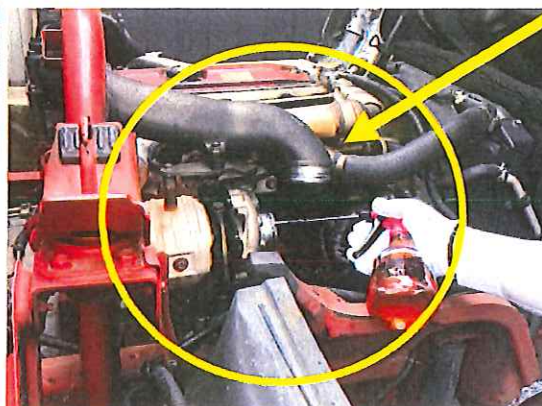
### 施工写真



エアの流れ

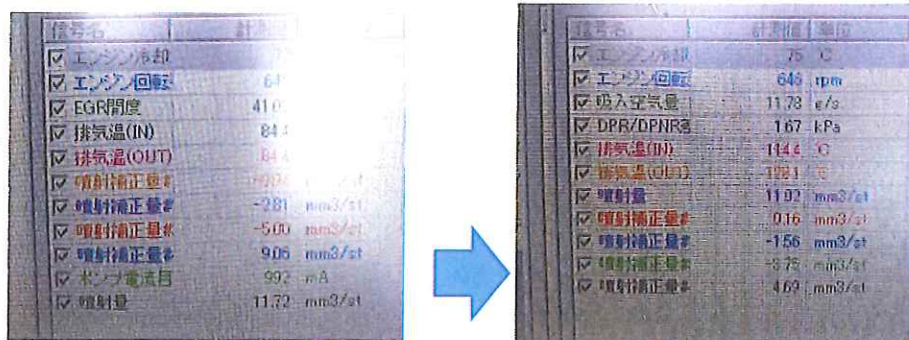
吸気系統のコンプレッサー部分は、必ず、イール手前のホースをはずす。



アイドリング状態で回転数を上げ、スプレーのノズルを入れてゆっくり10プッシュ吹き込み、数十秒状態を確認する。これを既定量(1回目200cc、2回目300cc、3回目200cc)消費するまで繰り返す。各回吸入後、5Km(計15Km)走行し、施工終了後に30分のアイドリングを行った。

## 1. データモニターによる変化



データ項目	1 回目吸入後 (左)	施工終了後 (右)	結果
噴射補正量#1	- 0.94 mm3/st	0.16 mm3/st	改善
噴射補正量#2	- 2.81 mm3/st	- 1.56 mm3/st	改善
噴射補正量#3	- 5.00 mm3/st	- 3.75 mm3/st	改善
噴射補正量#4	9.06 mm3/st	4.96 mm3/st	改善
噴射量	11.72 mm3/st	11.02 mm3/st	改善

1 回目吸入後では、インジェクター交換の目安とされる $\pm 5.00$ を4本のうち2本が超えていたが、施工終了時は全て $0 \sim \pm 5.00$ 内に収まり数値に改善が見られた。

これは、インジェクター先端に付着したカーボンが、RMCにより、短時間に一部が剥離した結果と推察される。今後、走行距離とともに、更なる改善が期待される。

## 2. 体感による変化

- ①トラック所有会社の専任ドライバー（新車当初より 85 万キロを運転したドライバー）より、「エンジンが軽やかになり、エンジン音の軽減を確認した」との感想をいただいた（5/10 時点）。
- ②トラックメーカーの立会い担当者様より、次の感想をいただいた。
  - ・アイドリング時のキャビンの揺れ具合が半分以上軽減され、安定した。
  - ・中回転域のトルクが増加したようで、伸びが良くなった。
  - ・走行中の異音の軽減が感じられた。 ・短時間で噴射補正量の改善が認められた。

## 3. 報告者総括

3回のインターバル5Km 走行で、それぞれ明らかな改善傾向（特に、振動、音、パワー）が見られた。また、施工前インジェクターノズル2本を交換しなければならない「故障」「寿命」状態にあるものが、エンジンを分解することなく復活したことは驚きである。作業時間及び内容・費用・結果からみて、非常に効率良く・低コストで高い効果を得られる商品である。また、施工時に手で触れても無害であり、施工者に安全である点も評価できる。また、何より、エンジン内部のカーボンを排出してエンジンを最良の状態に保つことで、余計なエネルギー消費を抑えて排気ガスを低減し、環境への負担を軽減することができる。企業にとって、社会貢献策としても、本商品を使用する意義が大きいのではないだろうか。

以上